

住所 坂井市春江町江留上大和4-8 TEL・FAX 51-0829  
E-mail edomekami-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

発行：江留上まちづくり協議会 総務広報部



@EDOMEKAMICC

## コミセン講座 クラフトバック



10月から12月にかけてクラフトバック作り講座を開催しました。4回シリーズの最終回でカゴバックが完成しました。皆さん初めは苦戦していましたが、先生の丁寧な指導のおかげで立派なカバンが出来上がりました。受講生皆さんの交流も図られ作業も手際よく進み、出来上がっていくかばんを見て会話が盛り上がっていました。とても楽しい講座になりました。また、余った時間で簡単に作れるミニクリスマスリースも作りました。



## まちづくり協議会 かみむらカフェ



毎週火曜日に江留上コミセンでかみむらカフェを開催しています。春江交番の署長による犯罪防止の話の聞いたり、みんなで体操したり、お楽しみイベントをしたり・・・毎週違った企画があり地域の方は楽しそうにコミセンへ来てくれています。コーヒーとお菓子を食べながらお友だちとお話するだけでも楽しいですよ☆参加は無料ですのでぜひ遊びに来てください。

◎毎週火曜日 13:30~15:30 江留上コミセン スマイルホールにて元気に開催中◎





# コミセン講座



12/20(金)

## お正月しめ飾り

玄関先などに飾るお正月しめ飾り講座を開催しました。たくさんある花材の中からお気に入りのを見つけ出し、先生の指導を受けながら作りました。それぞれに個性あふれる作品が出来上がりました。



12/27(金)

## お正月ねりきり

おもてなしねりきりとして、松や竹などのねりきりの他、水仙や祝いのしのねりきりを作りました。みんな同じように作っているのに少し色や形が違ったねりきりができ、最後にはみんなの作品を見て回り、撮影会が始まっていました。



1/7(火)

## スマホ教室～入門編～

日頃、電話やメールしか使っていないスマホをより便利に使いこなす為にカメラやマップ、

LINEの使い方を丁寧に教えていただきました。皆さん知らないことがたくさんあり勉強になったと喜んでいました。



1/21(火)

## 知って UkiUki! ハーブで健康

年間通して開催していた講座でしたが、参加者からの強い要望で追加講座を行いました。今回はお魚を使ったハーブ料理教室で、白身魚にハーブをまぶし

焼いた料理とシナモンを使ったデザートなどを作りました。ハーブの香りが鼻から抜けてとても美味しかったです。



## コミセンカフェスペースに・・・

コミセンカフェスペースに、ひな人形を飾りました。以前、地域の方から7段のひな人形を寄付していただきました。人形の顔はとてもかわいらしく優しいまなざしをしています。ぜひ見に来てください。



2/22(土)

## パンづくり

手ごねで作るハードパン作りを開催しました。2回シリーズの1回目はエビパンを作りました。次回は3/8に開催しイギリス食パンを作ります。



# 放課後子ども教室活動



## しょうぎ教室

5月から始まったしょうぎ教室は2月で終了しました。全20回の教室でしたが、子どもたちは毎回休まずに来てくれて、楽しかったと話してくれました。また来年度もしょうぎ教室するので参加してね。





# まちづくり協議会活動

まちピカ部会

## 正月寄せ植え

12月13日(金)に正月寄せ植えを行いました。松、竹、梅などの縁起物で植えた正月寄せ植えは縁起物とされており、葉ボタンやバラなどかわいい花も一緒に植込み、正月らしい華やかな寄せ植えができました。



指導受けながら植えました

はつらつキッズ部会

## クリスマスクレープパフェ

12月25日(水)のクリスマスの日にクレープパフェを作りました。紙コップにクレープとフルーツ、生クリームなどを入れてトッピングしました。



チョコクリームたくさん!

はつらつキッズ部会

## ねりきり&プチお茶会

2月1日(土)に子ども対象のねりきり&プチお茶会を開催しました。季節の花々の形になるように丸めたりつまんだりして作りました。試食の小さなねりきりも作り、お茶と一緒に試食し日本特有のお茶の世界を少しだけ体験しました。



早く食べたいな~



# コミセンからお知らせ

### ●コミセン利用について●

コミセンにはカフェスペースがあり、自販機や雑誌などが設置しています。お友だちとゆっくりお話や、休憩スペースなどにご利用ください。



### ●忘れ物について●

コミセンでは傘や帽子などの忘れ物を預かっています。心当たりのある方はコミセン窓口までお越しください。※2月いっぱいまで処分いたします。

### ●コミセン駐車場について●

夜間および土日にコミセン駐車場に車を停めている方がいます。勝手に駐車しないようお願いいたします。ポイ捨てなどしないようお願いいたします。

### ●蛍光灯、乾電池、ライター回収箱について●

蛍光灯、乾電池はコミセン屋外に設置しています箱に入れてください。持ってきた袋などのゴミはお持ち帰り下さい。また、ライター回収箱はコミセン内玄関に設置しています。中身がまだ入っているライターは使い切ってから捨ててください。

バッテリーや充電器などは回収できません。



前回は、『雷』と『稲妻』という文字から、稲作は雷と関係があるのではないか？という疑問から話を展開しました。今回はさらに深掘してみましよう。

稲妻は、《稲の夫(つま)の意。稲の結実期に多く起こるので、これによって稲が実ると考えられていた。》(大辞泉)。また、精選版日本国語大辞典によれば、稲妻の語誌として、《「いなつるび」(「つるび」は交配の意)ともいい、古代では雷光が稲の穂と結合し、穂を実らせると信じられていた。稲の開花結実のころによく雷光が発するためであったか。》と記載があります。次に『雷』という漢字について調べてみましょう。漢字の成り立ちをまとめた辞典『字統』によれば、正字は靄。作りは轟(らい)。もとは象形文字である。以下要約すると、田の文字は轟音を鳴らす鼓を意味している。とあり、水田の“田”と雷の“田”とは語源が違うようです。さらに字統で『神』を調べてみましょう。漢字を部首で分解します。『ネ』は『示』が変形した物でありであるので『示』を調べると、《象形文字。神を祭るときの祭卓(さいたく)の形》。一方『申』は、《象形文字。電光の走る形に象(かたど)り・・・字は明らかに電光が斜めに屈折して走る形で、屈伸の意がある。それが天神のあらわれる姿と考えられた》。とあります。ちなみに『電』の字の『屯』の部分は『申』の変形したものです。

私の予想とは違ったものの、『神』と『雷』の文字の意外なつながりが見つかりました。ここで『申』の甲骨文字を見てみましょう。前回ご紹介した紙垂(しで)と形が似ていると思いませんか？漢字は、古代中国で発展した象形文字を基にしています。象形文字は、当初は簡潔なものから



申の甲骨文字

申の金文



紙垂のついたしめ縄

始まり、時間の経過とともに複雑化・多様化しました。古代中国の象形文字は大きく「甲骨文字」と「金文」に分けられます。甲骨文字は、紀元前14世紀から紀元前3世紀にかけて、龍山文化や商朝時代に使用された文字で、主に獣骨や亀甲に刻まれていました。動物や植物、天気、出来事などを描いたものが多く、文字の形も実際の物を簡略化して描いたものでした。一方、金文は、紀元前770年から紀元前221年にかけての周・春秋・戦国時代に使用された文字で、主に青銅器に刻まれていました。金文は、より簡略化され文字の形も直線的になっていて、漢字として現代でも使用されている文字も多く含まれています。

古代中国では、文字は特別な存在であり、神秘的な力を持っていると考えられていました。文字を書くことは、神と交信することとも考えられ、文字を書くことは神聖な行為であるとされていたのです。

『𠩺 (木)』や『𩺰 (魚)』といった象形文字とは違い、神という抽象的なものを表すのに雷の稲光で表現し、神の現れている姿ととらえていたことに古代の宗教観を感じることが出来ます。また、古代中国と日本が同じように雷の巨大な力に神秘性を感じていたのが興味深いところです。

さて、甲骨文字や金文の研究者に福井県出身の白川静(しらかわしずか)博士がいます。漢字の成り立ちについて研究し、新たな発見を行い漢字相互のつながりや、古代中国の考



え方への理解を深め、『白川文字学』と呼ばれる漢字についての新しい考え方を構築しました。また、先ほど紹介した『字統』など多くの著書も残しています。福井県教育博物館には、白川博士をはじめ多くの福井県出身の偉人を紹介しています。一度訪れて、白川文字学の世界に触れてみてはいかがでしょうか？

(今回の古代文字は「立命館大学白川静記念 東洋文字文化研究所」のフォントを利用させて頂きました。)